

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会
会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

2018 6.20
19期 No.2
《部内資料》

県社保協設立 20 年総会 記念講演とあわせ 91 名参加 自治体キャラバン 2018 成功へいざ!

6月2日、16時から豊見城市社会福祉センターにて、県社保協設立20年、2018年度定期総会が開催されました。

冒頭、新垣安男会長よりあいさつ

「早いものでもう20年たちました。社会保障改悪が進む中で、暮らしと健康守るとりくみすすめてまいりました。貧困と格差が広がっています。大企業内部留保400兆円、一方で高齢者が社会保障を受けられない状況は深刻、お金がないからとデイケアの回数を減らすような状況です。総会を成功させて、大きな壁を取っ払う大きな新しい運動をすすめましょう。今日は大阪社保協の寺内順子事務局長を招き、自治体キャラバンなど地域からの具体的な運動を学びます。目前の自治体キャラバンを大きく成功させましょう。ご協力よろしくお祈いします。」

高崎事務局長より、総括方針報告。(議案書参照)

戦後最悪の社会保障制度改悪から住民の命と暮らしを守る運動を自治体や地域と共同してすすめようと提案。

討議では各団体より7名発言、地域社保協より6名リレートーク。13名の発言で総会を盛り上げました。

(2ページ以降へ)



選出された役員

会長	新垣安男 (民医連)
副会長	大城郁男 (医療生協)
副会長	仲里尚実 (保険医協会)
副会長	高嶺朝広 (民医連)
副会長	六井輝明 (県労連) 新
副会長	瀬底律子 (生健会)
副会長	山里昌毅 (年金者組合) 新
事務局長	高崎大史 (民医連)
事務局長次長	比嘉直樹 (沖縄協同病院) 新
事務局長次長	知念毅 (医療生協)
事務局長次長	平田清憲 (医労連)
事務局長次長	新里和也 (沖縄組那覇支部)
事務局次長	西銘耕史 (保険医協会)



総会発言要旨



○仲里尚実 副会長 保険医協会

こども医療費無料制度を広げよう

どの子ども安心して受けられる医療制度で元気な沖縄県を
こども医療費助成制度を広げる署名用紙が入っております
記者会見の様子はニュースで放映されました

要請項目は3つ

1. こどもの医療費助成制度を現物給付にした市町村の国保への国庫補助の削減（ペナルティー）は、すべて廃止するよう政府に要請してください。
2. 国の制度として中学校卒業まで国の医療費無料制度を早期に実現するよう政府に要請してください
3. 国の制度化ができるまで、県の制度として、中学校卒業まで、所得制限なし、一部負担なし、現物給付で医療費無料制度の拡大拡充を県と市町村が協力して早期に実現してください。

ぜひ署名用紙を持って帰ってください

オリブ山病院でも訴えていて、思想信条を超えて職員全員が賛同できると病院をあげて協力してくれています。すべての県民が思想信条を超えて協力できる署名です。どうかご協力よろしくお願いします。



○波平文子氏 母親大会連絡会

国の調査で、こどもの貧困率が、6人に一人から7人に一人に下がったことになっています。しかしこれは数字のマジックで、全体に貧困が広がっただけです。高校生の問題。就学援助がなくなり、一気に経済的負担が増えます。教科書代も必要です。通学費の補助もない。授業料無料化を安倍政権が所得制限や手続きを複雑にした。さらに実業高校の場合、実習代が高い。進学校の場合、模擬試験受験費用など。高校生になると、医療費の援助もない。お金が

あるなしで高校教育が受けられない。

小中学生の就学援助は、テレビコマーシャルもあって、認知度が上がってきた

しかし、なかみは市町村でかなりデコボコ。平成24年から就学援助に国の基準で新しい項目が加わりました。生徒会費、PTA会費、クラブ活動費です。県内41市町村で那覇市が生徒会費を出しあっているだけで、他はしていない。

これまでの項目でも支給されていないものも多い。

自治体は「うちは金がないからね」

就学援助の医療費補助も、12の病気だけ指定。インフルエンザも対象外

まだまだ不十分だが、認知されてきたことが次につながる。

教育無償化、憲法26条2項が本当に実行されたら、就学援助はいらないのです

その一歩として、就学援助を広げ、学校給食無償化を所得制限なしで広げていきたい。

○安良城 年金者組合

年金問題、退職後も働かないといけない状況。

消費税に頼らない、最低保障年金制度を確立することが大事

マクロ経済スライドでどんどん年金下げられていく。廃止を目指します。

皆様には将来年金者組合を支えていただきますようお願いいたします





○西銘純恵氏 日本共産党

全国に誇る翁長知事の子どもの貧困調査について
安倍政権は、生保削減について、国連からの批判に居直り反論
社保協の運動は憲法 25 条生かしていく県民に見える形で大きく前進している。
社会保障は市町村の基本の仕事、しかし安倍政権の社会保障削減に市町村も苦し
んでいる。おしかえすためにも翁長知事再選を
子どもの貧困調査、小1、小5、中2 全県網羅

ご飯を食べることもできなかった。貧しい暮らしの実態が明らかになった。

子どもの貧困 29.9%は、全国の 1.8 倍。 翁長県政が全国初調査して改善へ。

就学援助そのものを知らなかった方が 20%もいた。大きく改善させた。

沖縄県は民設民営中心の学童保育は利用料 1 万円を超える。5000 円を上限に補助

高校生調査も実施。通学費も厳しい。ゆいレール、昨年から軽減。バス代も補助

ひとり親世帯、6 割近く貧困。もっと調査を、就学前 1-5 歳へ。

過去 10 兆円以上の基地交付金は、貧困解決につながらなかった。

翁長県政は 30 億円、5 年かけて解決に役立つ支援する

就学援助の支給率を大きく改善させている。翁長県政の実績を知らせていきましょう。

○照屋つぎ子氏 生健会

申請しても生保開始決定 14 日以内が守られていない。

決定するまで一か月以上かかって、家賃が発生して大変という状況も。

14 日以内に決定できるようケースワーカーの配置を是正すべき

就学援助はテレビやポスターで宣伝されているのに、

生保は申請用紙ももらえない状況

誰でも受けられるはずなのに 隠れて受けなければいけない実情

誰でも申請できるということがないがしろにされている

みんなが、安心してらせるようキャラバンや 25 条運動など共闘することが大事



○玉城康博氏 県労連

こどもの貧困はの主たる原因は親の貧困

沖縄県は年収 200 万円以下の労働者 40%以上。

働けど働けど我が生活楽にならざりき

生保以下のワーキングプアが生保を「もらいすぎ」と攻撃

貧困なもの同士をいがみあわせている

本土ではピンクのジャンパーをきて「生保受給者がパチンコ屋にいつている」

という署名を集めているグループまである。最低限度の生活もできない労働者

を生み出して、生活保護受給者と対立させている、国の政策のゆがみ 格差を生み出す社会、8 時間働けばきち
んと生活ができるように最低賃金を上げていかないと。最低賃金を上げていく運動に力を貸してください



○朝妻彰氏 きょうされん沖縄支部

介護保険優先原則の問題点と福祉避難所について

障害報酬の改定、共生型サービスの開始 財務省主導で財政抑制がメインテーマ

4月から補助単価、収入が減っているという事業所が7割

65歳以上の介護保険優先原則で、質が落ちたり、サービスを減らされたり、負担が増えたり

浅田訴訟、一審勝利。(岡山市控訴) 行政ができること、障がいの状態に合わせて柔軟に対応させること

政府は、いずれ障がい者サービスを介護保険へ吸収させるつもり

逆に、介護保険サービスを障害者福祉のレベルへ充実改善できるようひっばっていききたい

国会要請、沖縄選出議員、維新の党をのぞくすべての野党議員が紹介議員に

みなさんと一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします

☆地域社保協リレートーク

○浦添市社保協 山城楓氏

浦添協同クリニックの山城と申します

浦添はしばらく活動できていなかった

今、団体に声をかけている最中です

今年のキャラバン準備へ動き始めています



○南風原町社保協 秋山幹雄氏

昨年7月20日に53名の参加で結成総会。

共同代表として、かりゆしの里の具志堅さん、生健会の当真さん、私は医療生協代表でという顔ぶれで出発しました

現物給付をしているということで南風原町は注目されている

子どもの医療費無慮制度を県全体で中学校卒業まで持っていけるように、全体で1万筆目標、医療生協で1200筆目標で頑張っていこうと思います



○沖縄市社保協 前宮美津子

3月11日、沖縄市社保協主催で中部協同病院で65名が参加し、地域包括ケア一桑名方式の学習会を行いました。

介護保険料の値上げが続く中、将来介護を受け続けることができるかどうか不安が広がっています。

沖縄市の国保は県単位化で国からの補助もあって、

今年は引き下げるとのこと。

しかし今後はどうなるかわからない。

沖縄市民会館で 「支えある介護」 大きな講演会

基調講演のなかみは「助け合い的自己責任論」の色が濃い

介護保険改悪の主戦場は、国から市町村に移る

キャラバンの重要性をしっかりと受け止め、5月18日に総会を開催

みんなの認識をあらたにしました





○うるま市社保協 藤田義明氏

うるま市社保協事務局長の藤田です

昨年6月9日に結成総会。37名が参加。14名の幹事を選出

ちょうど満一歳を迎えます

ちょっと報告したいこと。うちの家内が要介護4。むこうの施設から言われたこと「藤田さんそんなに待たなくて大丈夫。要介護1,2の人が外れたから」
こういうことかと。

また、介護の話をする場所で、参加者の5人のうち4人が介護している。「介護保険に頼らないよう健康に生活していこう」というのが合言葉になっている。

うるま市社保協では、キャラバンの要請文を議論する際も、質問ばかりで議論にならない。こんな状況では運動をすすめていくことができない。だからこそ、社保運動のプロを育てる、運動をすすめる人を育てることが必要なのです。

○宜野湾市社保協 宮城力

安倍首相は2020年改憲発議をめざしている。国民生活に密着する社会保障費は1300億円削減。県民の暮らしを守るため、新しい福祉国家を展望して消費税に頼らない

奮闘する決意です。平和と暮らしを守るため共に頑張りましょう。



○豊見城市社保協 松田南海男

昨年7月15日、共同代表3名、監事7名で豊見城市社保協を結成。

なかなか定例化できないでいましたが、昨年の豊見城市キャラバンの運営を担えたことが最大の成果でした。8月には今年の豊見城市キャラバンがありますが、7月に総会と学習会を開催していきます。



沖縄県社会保障推進協議会設立 20 周年記念総会知事メッセージ

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

沖縄県社会保障推進協議会が設立 20 周年を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

設立以来、会長の新垣安男様をはじめ、会員の皆様には、社会保障制度について、県民目線に立った幅広い御意見をいただくと共に、講演や先進事例の紹介等により、県民へ広く制度の啓発を行っていただくなど、社会保障制度の改善、充実を目指す取組に多大な御尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

さて、沖縄県においては、深刻な子どもの貧困や待機児童の問題、少子高齢化の進行などに伴い、子ども医療費助成や国民健康保険等の社会保障制度に関する様々な課題が残されております。

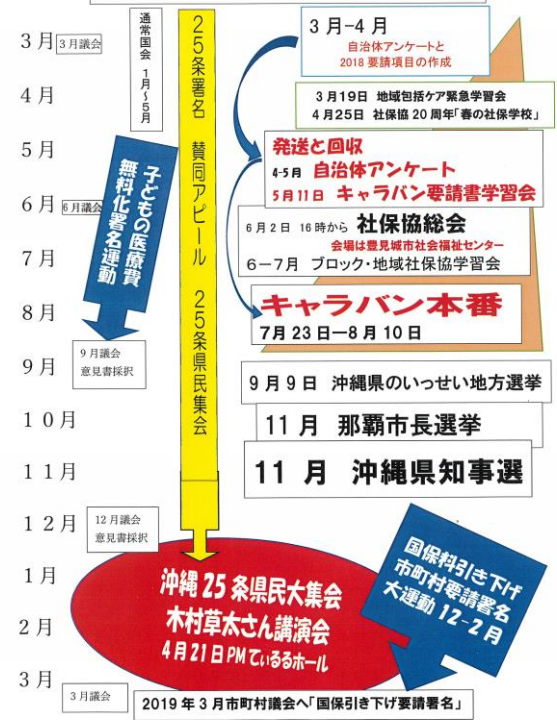
このため、沖縄県では、それぞれの地域で県民が適切なサービスを受けられるよう、保健、医療、福祉の提供体制を整備するとともに、人材育成の充実など各種施策を展開し、「沖縄21世紀ビジョン改定基本計画」に掲げる「健康・長寿おきなわ」の復活や、将来を担う子ども達が夢や希望を持って、健やかに生まれ育ち、豊かな才能を発揮できる社会の実現を目指し取り組んでおります。

貴会におかれましても、県民一人ひとりが、心豊かで安全・安心に暮らせる社会の実現に向けて、今後とも、県政に対する御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、設立 20 周年の節目を迎えられました沖縄県社会保障推進協議会の今後益々の御発展と、本日お集まりの会員の皆様の御活躍、御健勝を祈念しましてお祝いの言葉といたします。

平成 30 年6月2日
沖縄県知事 翁長 雄志

社保運動 2018 のイメージ 20180501



基調講演
憲法学者
木村草太氏
「国保引き下げ」の是非をめぐり、国保の役割、国保の持続可能性、国保の改革の方向性、国保の改革の課題、国保の改革の展望について講演。

2019年
4.21日 13:00~
会場 沖縄県男女共同参画センター
ているホール

主催：沖縄憲法25条を守るネットワーク
沖縄県社会保障推進協議会
実践交流リレートーク募集中です
(連絡先) 事務局 県社保協 098-833-3397 (高崎)

沖縄憲法25条県民集会

暮らしを守る取り組みを
県社保協20年講演会

県社会保障推進協議会(新垣安男会長)の定期総会と設立20周年を記念した講演会が2日、豊見城市社会



福祉センターで開かれた写真。大阪社会保障推進協議会(大阪社保協)の寺内順子事務局長が「社会保障と地方自治の危機にどう立ち向かうか」の演題で講演し、情報公開と自治体への独自アンケートなどを通してデータを集積する取り組みなどを紹介した。

大阪社保協は、51の地域社会保障推進協議会を組織している。寺内事務局長は「社保協なくして地域住民の命と暮らしを守ることは

できないと確信している」と強調し、各地域の社保協づくりを推進している意義を語った。

また、毎年4月から大阪府内の43市町村に対して、国民健康保険や介護保険、子ども施策などのアンケート調査を実施している取り組みを紹介した。自治体の比率や順位を分析して冊子を作成し、冊子を自治体に渡すことによって市町村との信頼関係を構築していることを明かした。